

3年社会（歴史）明治維新の三大改革まとめ【解答例】

【学習のねらい】江戸時代と比べ、三大改革によって日本はどのように変わったか説明できる。

作業：教科書や資料集を見て、次の表をまとめてみよう。

	教育の制度	軍隊の制度	税金の制度
江戸時代の様子	① 庶民 →寺子屋 武士 →藩校 江戸時代では、 <u>子ども全員が寺子屋や藩校に通う義務はなかった。</u>	② <u>武士が戦いに参加する。</u> →幕府が戦いに必要とする時に、全国の大名に命令して、武士を戦いに参加させた。（幕藩体制）	③ 土地ごとに耕作者を定め、収穫量に応じて石高で年貢を決め、 <u>米で納めた。</u>
三大改革	④ 学制（1872年） → <u>満6歳以上の男女</u> は、小学校に通わなければならない。（義務がある。）	⑤ 徴兵令（1873年） →平民や士族の <u>20歳以上の男子</u> に、兵役の義務を負わせた。	⑥ 地租改正（1873年） →収穫高ではなく、地価（土地の値段）を基に税をかける。 <u>土地の所有者が現金で税を納める。</u>
人々の生活への影響	⑦ 地元の人々が、小学校を建設する費用を負担しなかった。 子どもを労働力と考えたため、就学率は当初低かった。	⑧ 百姓（農民）の負担が増えるため、徴兵反対の一揆が起こった。 実際に兵役に就いたのは、平民の二男・三男だった。	⑨ 江戸時代と税の負担が変わらないので、地租改正反対の一揆が起こった。

下線部のところを中心に、江戸時代と明治時代の違いをはっきりさせる。

【学習のまとめ】江戸時代と比べ、三大改革によって日本はどのように変わったのか説明しましょう。（ヒント：教育・軍隊・税金の3つから説明しましょう。）

教育…江戸時代は、身分に応じて寺子屋や藩校があり、子ども全員が通う義務はなかった。明治時代になると、満6歳になると子ども全てが小学校へ通った。
 軍隊…江戸時代は、武士が中心だったが、明治時代になると身分に関わらず20歳以上の男子が兵役に就いた。
 税制…江戸時代は、米で年貢を納めたが、明治時代は現金で税を納めた。

3年 組 番 氏名

【解答をつくるポイント】

→江戸時代と明治時代の改革を比べ、違いをはっきりさせる。

1 教育の制度

- (1) 江戸時代は、身分によって教育機関（藩校・寺子屋）が違ふこと
- (2) 明治時代は、身分による教育機関の違いがないことや義務になったこと

2 軍隊の制度

- (1) 江戸時代は、武士という身分が戦いの中心であったこと
- (2) 明治時代は、身分に限らず、20歳以上の男子が兵役に就く義務があること

3 税金の制度

- (1) 江戸時代は、土地の耕作者が年貢として、米を大名や幕府に納めたこと
- (2) 明治時代は、土地に価格をつけて税率を決め、現金で政府に納めたこと